

教育研究評議会（第17回）議事要旨

日 時 平成26年1月8日（水） 10:31～11:25
場 所 第一会議室

出席者 村松学長，大竹理事，藤井理事，勝山理事，加藤副学長，野口副学長，國分学系長，高田学系長，松川学系長，増田学系長，岸研究科長，伊藤評議員，新藤評議員，赤司評議員，高橋評議員，國仙評議員，山田評議員，繁田評議員，中島評議員，新田評議員，山崎評議員

以上21名

陪席者 荻上監事，堀口監事

I 議 題

1 共同研究の受入れについて

野口副学長から，配付資料に基づき説明があり，審議の結果，承認した。

II 報告事項

1 平成25年度3月卒業・修了者の就職状況について

2 平成25年度3月卒業・修了者の選修・専攻別進路状況について

3 平成26年度東京都公立学校教員採用候補者選考結果（東京学芸大学）について

報告事項1～3について，加藤副学長から，配付資料に基づき報告があり，意見交換を行い，以下のとおり確認した。

- ・ 資料2について，4頁目の標題を「(大学院教育学研究科) 平成25年3月修了者の就職状況【大学院教育学研究科・総表】」に修正する。
- ・ 東京都の教員採用数については，大枠として減少傾向にあることに加え，今年度は定年退職者再雇用的人数を多めに見込んだことにより，採用数が特に少なかったと考えられる。
- ・ 本日の教室主任会においても報告させていただくので，活用いただきたい。

4 平成26年度予算案の内示について

勝山理事から，配付資料に基づき報告があり，意見交換を行い，以下のとおり確認した。

- ・ 運営費交付金は国立大学全体として減額傾向にあり，とりわけ教育系の大学は厳しい状況にある。そのような状況の中，特別経費等を積極的に獲得出来たこともあり，全国11教育単科大学に比べ，本学の減額割合は少ないと言える。
- ・ 「授業料免除枠のうち『取組支援加算分』に相当する額の予算配分の考え方の変更について」は，昨年12月24日政府予算案が決定したと同時に文部科学省から通知されたばかりのものであり，まだ説明会等は開催されていない。予算上の算出根拠等の疑問については，その説明を受けた上で答えさせていただきたい。

5 専門委員会報告

・ 制度人事専門委員会

昨年11月27日に諮問された名誉教授称号授与手続きの改善について，配付資料に基づき報告があった。また，自然科学系長から，資格は満たしているが名誉教授となっていない方々についても名誉教授称号を授与できるよう図って欲しい旨依頼があり，藤井理事から，検討したい旨回答があった。

- ・ 入学者選抜専門委員会

大学院修士課程の追加募集に関する諮問について、検討状況の報告があった。なお、今回の教育研究評議会において教授会で意見聴取するための案を提示したい旨併せて説明があった。

6 その他

- 学長から、平成 26 年度理事・副学長予定者の体制について説明があり、このことは本日に学芸ポータルにて全学にお知らせしたい旨併せて説明があった。
- 加藤副学長から、1 月 17 日に、FD 部会として課程認定と設置審に係る研修会を開催する旨連絡があり、積極的に参加いただきたい旨依頼があった。

以上

配付資料

- 資料 1 共同研究の受入れについて
 - 資料 2 平成 25 年度 3 月卒業・修了者の就職状況
 - 資料 3 平成 24 年度（25 年 3 月）卒業・修了者の選修・専攻別進路状況表
 - 資料 4 東京学芸大学 平成 26 年度（25 年度実施）東京都公立学校教員採用候補者選考結果
 - 資料 5 平成 26 年度東京学芸大学事業費の概要（内示）
 - 資料 6－1 名誉教授称号授与手続きの改善について（報告）
 - 資料 6－2 東京学芸大学名誉教授称号授与規程の一部改正（案）について
 - 資料 6－3 東京学芸大学名誉教授称号授与規程施行細則の一部改正（案）について
 - 資料 6－4 名誉教授称号授与に関する諮問（参考）
-
- 参考 1 教育研究評議会（第 16 回）議事要旨